

株式会社ニトリホールディングスと北海道との連携・協力について

1. 連携・協力事項 【協定締結 知事と(株)ニトリホールディングス会長名で締結 平成 29 年 4 月 13 日】
北海道立美術館と(株)ニトリホールディングスが設置運営するニトリ小樽芸術村が、交流事業等を通じて相互に協力し、北海道の芸術文化の振興に寄与することを目的とし、連携協定を締結。
 - ・北海道の芸術文化の振興に関する事業
 - ・道立美術館と小樽芸術村との交流事業
 - ・その他必要な事業
2. 実施した事業
 - ニトリホールディングスが所蔵する美術作品の図録作成への協力（作品解説等の原稿執筆と編集）
 - 近代美術館、三岸好太郎美術館でのニトリコレクションの展示
(小樽芸術村のコレクションと、北海道立近代美術館、三岸好太郎美術館のコレクションとは、分野や時代で重なり合い、響きあう作品が多数あり、ニトリコレクションを紹介する展覧会を開催。)

平成 29 年度

道立近代美術館

小樽芸術村×近美 ガラスコレクション ～華やぐ光と彩り～

小樽芸術村「アール・ヌーヴォーグラス館」では、19 世紀末～20 世紀初めのヨーロッパのアール・ヌーヴォー期を代表するガラス作家、ガレ、ドーム、アルジィールソーなどをはじめ、多彩なガラス器やランプを中心に収集、展示している。道立近代美術館のガラスコレクションもこの時代の作家、作品が充実し、そのきらめく彩りが多くの愛好家をひきつけている。本展で、両館のコレクションをあわせて紹介。

会期：2017.4.22(土)～8.15(火) 91 日間
会場：北海道立近代美術館 展示室 A
観覧者数：20,147 人



mima 三岸好太郎美術館

小樽芸術村×mima 絵画コレクション ～三岸好太郎とその時代～

小樽芸術村では、日本近代美術を代表する作家の作品も収集し、コレクションには、岸田劉生や中川一政など、三岸好太郎の画業に影響を与えた作家が含まれ、大正期から昭和前期の美術の様相を伝えている。そうした近代絵画の秀作を、三岸好太郎の生涯をたどる三岸美術館のコレクションとともに展示し、同時代の絵画の響きあいを紹介。

会期：2017.4.22(土)～6.18(日) 50 日間
会場：北海道立三岸好太郎美術館
観覧者数：3,025 人

岸田劉生
《黒き土の上に立てる女》小樽芸術村蔵



三岸好太郎
《赤い肩かけの婦人像》三岸好太郎美術館蔵



平成 30 年度

道立近代美術館

【アートギャラリー北海道】連携展覧会 小樽芸術村×近美 ガラスと近代洋画の名品
小樽芸術村が所蔵するガラスと近代洋画の秀作を、近代美術館のコレクションとともに紹介。

会期：2018.11.21(水)～2019.3.21(木・祝) 99 日間
会場：北海道立近代美術館 展示室 A
観覧者数：18,597 人

和田英作
《菜の花鳥》道立近代美術館蔵



ドーム
《鷺に水草文三耳花器》小樽芸術村蔵



(参考)[アートギャラリー北海道]

道教委が 2018 年 4 月より北海道命名 150 年を契機として開始した事業。道内の美術館や文化施設 70 館がネットワークをつくり、相互にコレクションを紹介する展覧会や、協同によるイベントなどを開催することで、道内の美術館をめぐる人々を増やし、北海道全体をアートの舞台とし地域に賑わいをもたらそうとする事業。連携加盟館は、2019 年 4 月現在 77 館。【小樽芸術村も当初から加盟】